

先導的薬剤師養成に向けた長期課題研究及びアドバンスト教育プログラムの実践的展開

○富岡 佳久¹, 三田 智文², 新井 洋由², 波多野 力³

¹東北大院薬, ²東大院薬, ³岡山大院医歯薬

「先導的薬剤師養成に向けた実践的アドバンスト教育プログラムの共同開発」事業（先導的薬剤師プログラム）の一環として、東北大学、東京大学、岡山大学では、「長期課題研究及びアドバンスト教育プログラム」の試行的実施を中心に進めてきており、ここでは、平成23年度から24年度にかけて実施してきた事例を紹介する。

東北大学では、病院・薬局等と連携した教育プログラムとして、1) 病院（診療科）の臨床症例検討会に薬学科学生が参加して医師の治療方針決定プロセスを学習し、薬剤師の処方設計支援の在り方を検討する機会を設定、2) 実務実習後の学生を東北大学病院診療科のカンファレンスに参加させる取り組み等を進めている。岡山大学では、1) 診療所医師グループのもとでの実際の治療の見学、2) 患者のバイタルサインチェックや心電図・心腹部エコーの確認、在宅診療への同行などを進めている。

また長期課題プログラムとして、東北大学においては、医学系研究科環境遺伝医学総合研究センター及び東北大学病院産婦人科を中核メンバーとする「エコチル調査宮城ユニットセンター」に加わるかたちで、妊婦の貧血・血圧など各種臨床パラメーターと胎児・新生児の発育に関する長期課題研究等を進めている。東京大学においても、附属病院薬剤部が薬学系研究科の協力講座となるかたちで、学部学生の長期課題研究を進めている。

当日は、アドバンスト教育や、大学院教育、他大学での実施例についても紹介する予定である。